

背景

- 全国を上回るスピードで人口減少・少子高齢化が進む一方、外国人観光客の増加や北海道産食品の輸出拡大など、**急速に進展するグローバル化への対応が必要**な状況。
- 「グローバル人材」に求める資質・能力やその優先順位については、多様な受け止めがあることを踏まえ、**道民の皆様と共有する「北海道に求められるグローバル人材像」が必要**。

検討状況

- 北海道グローバル人材育成方針案検討委員会
構成：産学官関係者(北大、小樽商大、道教委、札幌市教委、HIECC、札幌国際プラザ、道経連、札商、札幌市、道)
- アンケート調査 期間：H27.12～H28.1、H28.4 回答：76団体（教育5、国際16、経済1、行政54）
- 意見交換 期間：H28.1～H28.2 参加：72名（延数96名）

これらの議論を踏まえ、グローバル人材育成において、道民の皆様と共有する指針として、「北海道におけるグローバル人材の育成に向けて」を作成。

北海道におけるグローバル人材の育成に向けて 構成

グローバル化の状況

- ・本道では、外国人登録者数が全国平均を上回る割合で増加傾向にあり、自治体における姉妹友好提携も全国で最も多い状況となる中、**グローバル人材育成に関するネットワークが必要**との指摘。
- ・経済活動においても、訪日外国人宿泊者数や海外輸出額の増加傾向が続いており、**外国人観光客に対応できる人材や海外の企業と交渉するための人材の確保が必要**な状況。
- ・こうした中、教育分野においては、社会人として**実践的に活用することのできる英語力の育成が求められている**など、学校教育からの一貫した取組に大きな期待がある状況。

課題

○必要な素養の醸成

○海外留学の促進

○人材活用に向けた環境の整備

○ネットワーク体制の構築

求められる人材像

北海道への誇りと異なる文化への寛容を身につけ、国際社会に貢献する高い志と広い視野を持って、地域や世界の課題解決に向けて主体的に取り組もうとする意思を持つ人材

道内外の企業・団体・個人の協力をいただきながら、北海道全体で取組

○グローバル人材育成の機運醸成

人材育成の重要性と人材像について、道民に積極的に周知を図るとともに、機運醸成を図る。

○ネットワークの形成

多様な主体の方々が一堂に会し、「グローバル人材の育成」に関する情報交換や、人材の活用について地域ぐるみで話し合う場の形成など、新たな仕組みづくりを支援する。

○グローバル人材活用の好循環

必要な素養の醸成や海外留学の促進などによる人材育成

グローバル人材の活用に向けた環境整備などによるロールモデルの輩出

ロールモデルの活躍による新たな人材育成

意欲や能力ある子どもや若者



活躍の姿を目標として努力する



ロールモデルとして活躍する姿を示す

活躍するグローバル人材



今後の取組の方向性